



平成 28 年 11 月 17 日

会 報 第 4 号

# 会津「The13」事業協議会 第 3 回 講演会・検討委員会

発行：会津「The13」事業協議会

事務局 〒965-0873 福島県会津若松市追手町 5 番 36 号

TEL 0242-29-1910 FAX0242-29-5916 E-mail g-ryohei@adoken.co.jp

## この号の内容

- 1 開催日
- 2 あいさつ
- 3 事業経過報告
- 4 講演会  
演題 「広葉樹林からの木質バイオマス生産と森林経営について」  
東京大学千葉演習林  
助教 當山 啓介 氏
- 5 検討委員会  
テーマ「川上(森林経営～林業)の課題と、解決策の検討」  
アルファフォーラム  
小林 靖尚 氏

## 1 開催日

1. 日時：平成 28 年 11 月 15 日(火)14:00～17:00
2. 場所：福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター  
会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 88-1 TEL:0242-39-2100
3. 事業経過報告
4. 講演会  
演題 「広葉樹林からの木質バイオマス生産と森林経営について」  
東京大学千葉演習林 助教 當山 啓介 氏
5. 検討委員会  
テーマ 「川上(森林経営～林業)の課題と、解決策の検討」  
13 市町村で取り組む事業の特徴について  
アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏

## 6. その他 事務局より

### 次回スケジュール

#### 第 4 回 講演会・検討委員会

日時：未定

場所：未定

内容

講演会：演題未定

会津大学 産学イノベーションセンター

教授 石橋 史朗 氏

検討委員会

・川下(CLT 需要、エネルギー需要等)の課題解決策の検討

13 市町村で取り組む事業の特

徴と ICT 活用の可能性について

詳細が決定次第ご連絡いたします

ので、その際にご出席賜りますようよろしくお願いいたします。

## 2 あいさつ

### 1. 唐橋理事長の挨拶





この度の講演会・検討委員会開催に際し、委員、行政、準会員、一般来場者で約 80 名のご参加をいただきました事、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

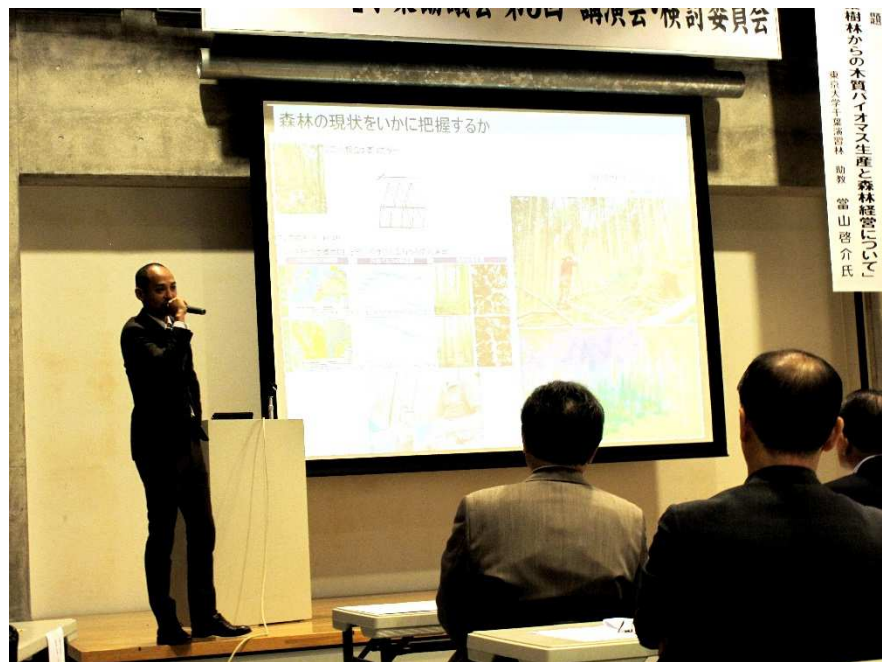
### 3 事業経過報告



現在までの会津「The13」事業協議会の活動と、CLT(ラミナ供給)、バイオマス関連に関する県内外の動向、特に福島県で実施する災害公営住宅(復興住宅)へ CLT 導入決定等、国を挙げて森林資源活用による循環型地域経済創造、雇用促進、震災復興へ向け進んでいる旨の説明があった。また、会津 13 市町村が集う本事業協議会の活動は、各省庁(内閣府、総務省、経済産業省、林野庁等々)においても「国内初の試み」と注目されており、その活動成果が期待されている。

※ プラチナ構想ネットワークへ入会

## 4 勉強会



演題 「広葉樹林からの木質バイオマス生産と森林経営について」  
東京大学千葉演習林 助教 當山 啓介 氏

林業の採算性が非常に悪い現在の状態を、国内外の森林状況を例に、「山は多様」で採算性も山の状況(地形、針葉樹、広葉樹、育成状況等)により異なるとの視点から、必要収量、人工林計画(広葉・針葉樹、樹種)検討、状況把握(計測)から将来を予想し、補助制度を活用しながら森林経営計画を進める事で長期持続可能とさせ、採算性を向上させることが重要との考えをご専門の森林科学(森林経営学)の立場からお話をいただいた。

## 5 検討委員会

### 1. 検討委員会



テーマ「川上(森林経営～林業)の課題と、解決策の検討」

13市町村で取り組む事業の特徴について

アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏

川上(森林経営～林業)の説明に当たり、シュンペーター(オーストリア経済学者)の言葉を引用し、「イノベーション(技術革新)とは、経済活動において旧方式から飛躍して新方式を導入することである」を説明しながら、新しい事を進めるには、既存の事にとらわれなくて進めていかなければならない。現在までの森林資源価値＝建築用材を打破し、燃料としての活用を前提に質の良い材は建築用材へ活用する考えにチェンジしていかなければならないと力説した。また、森林資源を100%活用し収益を確保するには、蓄材量の詳細調査を実施し、地形に合わせた伐採、搬出、集材方法を確立し、1%でも無駄にできない旨の説明があった。

今回のビデオでは、住友林業(株)が奈良県十津川村で実施しているタワーヤーダーによる搬出方法を上映し、急峻な地形に対応する為の高効率な搬出方法を見ることができた。

ビデオの補足説明では、住友林業(株)檜崎様より国内初となる補強盛土工方による林業専用道開設に係る貴重な経験談をいただいた。

質疑では、伐採や作業道取り付けに関する地権者の皆様への対応について質問があり、山の現状、ふるさとの現状等をご説明しご理解をいただきながら進めて行きたい旨の回答があった。



補足説明をされている住友林業㈱ 榎崎 達也 氏

## 6 事務局より 第4回 講演会・検討委員会開催について

事務局より第4回 講演会・検討委員会の開催日程に関し、開催日程がまだ決定していない為、後日改めてご連絡する旨の説明があった。

### 第4回講演会・検討委員会予定内容

講演会：演題未定

講師：会津大学 産学イノベーションセンター 教授 石橋 史朗 氏

### 検討委員会

テーマ：川下（CLT 需要、エネルギー需要等）の課題解決策の検討  
13 市町村で取り組む事業の特徴と ICT 活用の可能性について

詳細が決定次第ご連絡いたしますので、その際にご出席賜りますようよろしくお願いいたします。

以上

# 会津「The13」事業協議会

第3回 講演会・検討委員会 (実施日：平成28年11月15日)

福島民報新聞

平成28年11月18日掲載

## 会津The13事業協勉強会

### 持続可能な森林とは

#### 経営の在り方など説明



森林経営について語る 山助教

会津地方十三市町村の商工会議所や商工会、企業などで組織する「会津『The13』事業協議会」の第三回検討委員会・勉強会は十五日、会津若松市の県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターで開かれ、森林経営の在り方などを学んだ。

手法の「更新伐」が有効な選択肢になると解説した。続いて、アルファフォーラムの小林靖尚社長が森林経営の課題と解決策について語った。

講演に先立ち、事業協議会の唐橋幸市郎会長があいさつした。普及した。

#### 販路拡大へ 企業商談会

若松

会津地域ものづくり企業商談会は十五日、会津若松市の会津若松ワシントンホテルで開かれ、地元企業が販路拡大を目指し話し合った。

販路拡大を目指し商談する参加者

#### 息の合った

南会津3  
下郷

南会津、下郷両町の中学、高校三校の吹奏楽ショイントコンサートは十三日、南会津町の御蔵入交流館で開かれ、管楽器や打楽器に



# 森林活用を市民運動に

## 検討委で當山助教が講演

会津 The13



会津地方の13市町村の  
商工会議所、商工会、企  
業などでつくる会津「T  
he13」事業協議会（理  
事長＝唐橋幸市郎会津喜  
多方商工会議所会頭）は  
15日、会津若松市の県ハ  
イテクプラザで第3回検  
討委員会を開い

た。  
「市民運動とし  
て気運を高めた  
い」と話す菅家  
副理事長

た。

東京大学大学院農学生  
命科学研究科附属演習林  
千葉演習林の當山啓助  
助教が「広葉樹林からの木  
質バイオマス生産と森林  
経営」について講演した。

當山助教は「この地  
域に何があるから、これ  
だけの樹木を搬出できる  
はず」とは考えにくい  
とし、「広葉樹の樹種、  
樹量を把握した上で使用  
できる数量を積み上げて

目論むのが現実的」と提  
言した。また「全量を燃  
料生産に回す想定は非現  
实的。建築用材に使える  
部分は建築用材に。トロ  
はトロで売れる」と話し  
た。

講演を前に唐橋理事長  
は、会津13市町村が共同  
で進める分散型エネルギ  
ーインフラプロジェクト  
マスタープラン策定着手  
を受け「より一層の協力  
をお願いしたい」とあい

さつ。

副理事長の菅家洋一会  
津土建社長は「関係省庁  
も注目しており会津にと  
ってチャンス。市民運動  
として森林経営、森林活  
用の気運を高めていきたく  
い」とあいさつした。ま  
た、県の復興住宅へのC  
LT採用の場合、約80  
00立方メートルの木材使用量  
との見通しを紹介した。

福島建設工業新聞  
平成28年11月18日掲載